



カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成25年10月NO7
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

10月は勉強の秋、家庭学習に力を入れよう！

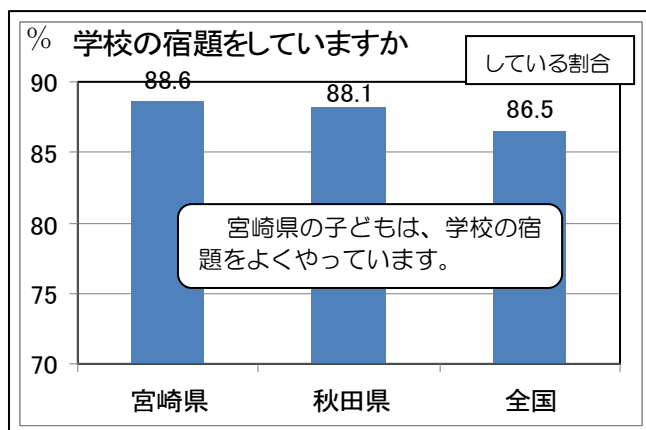
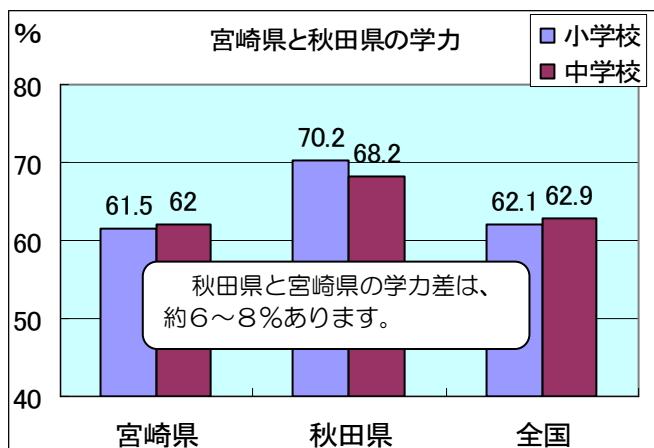
10月になって、暑さも一段落して、勉強や読書、スポーツに一番よい季節になりました。

そこで、今月の「ふれあい7号」では、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果をもとに、「学力全国1」と言われる秋田県と宮崎県・全国平均を比較して、家庭学習の面で学力を高めるために大切な勉強のしかたについて、教育研究所おすすめの工夫を紹介します。

宮崎県と秋田県の学力を比較してわかったことは・・・？

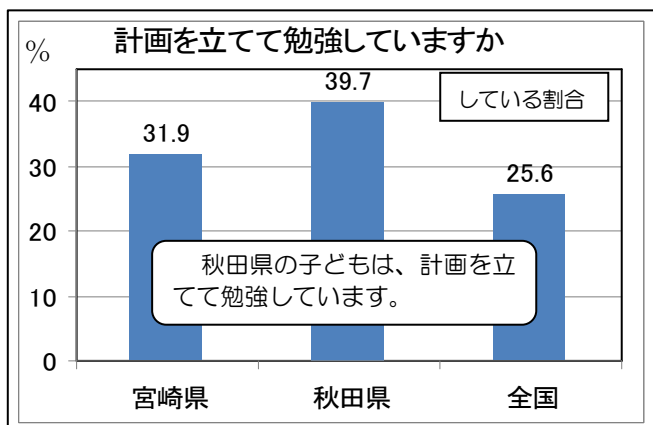
宮崎県の子どもは宿題をよくするが、その成果が出ていません！

平成25年度
全国学力・学
習状況調査結
果より



宮崎県の学力は、全国平均より約1%低いのですが、それほど大差はありません。しかし、秋田県との学力差は、約6～8%あります。秋田県の学力は、全国と比較しても、ずば抜けているということが出来ます。

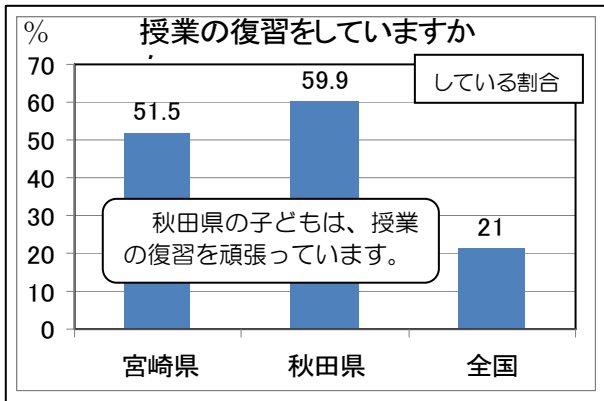
秋田県とは大きな学力差がありますが、学校の宿題をしている割合は、宮崎県の方が高いことがわかりました。宿題は、いっしょうけんめいに行っていますが、その結果が学力につながっていないことが考えられます。その原因は、何でしょうか？



工夫1 計画的に授業の復習をする

計画を立てる、授業の復習をすることが大切です。

家庭学習で大切なことは、第1に計画を立てて確実に勉強をすることです。1日のうちのどこかで必ず勉強時間をつくり、例外をつくらないことが大切です。また、1週間の中でも、休日に日頃できない勉強をする、などの工夫をすることも必要です。

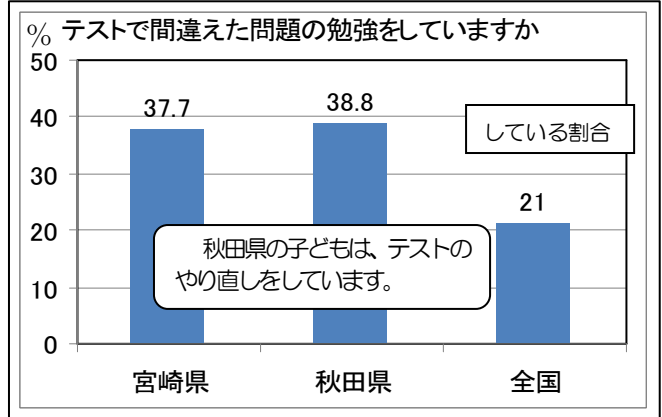
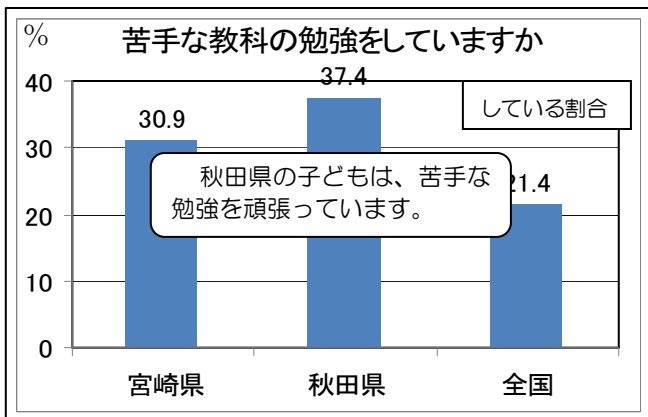


家庭学習でどんな勉強をしてよいかわからない、困っている、という声をよく聞きますが、その日の授業の復習をすることが第一に大切です。教育研究所は、「かどがわ学びのサイクル」と名前をつけて、その日の授業で習ったことを、もう一度家でも勉強することをすすめています。宿題はしているが、成績が上がらないというのは、勉強のしかたに問題があります。まず、授業の復習をしましょう。



工夫2 苦手な教科の勉強やテストの間違いのやり直しをする

苦手なことでも頑張る、できなかったことをやり直すことが大切です。



得意な教科ばかり勉強して、苦手な教科を後回しにいませんか。学力向上のポイントは、苦手な教科のレベルアップを図ることです。苦手な教科が少しできるようになると、勉強の意欲もぐんとわいてきます。

もらったテストが、机の中につっこんだままになっていませんか。間違った時こそ、できるようになるチャンスです。もう一度見直し、繰り返し練習して、それができるようになったら、大きな前進につながります。

教育研究所からのメッセージ

学力に深く関係しているのは、学校での授業と家庭での学習です。今回は、家庭学習の面から学力向上につながる工夫を紹介しましたが、学校の宿題をどこよりもよくやっているのに、それが学力につながっていない、というのが宮崎県の課題と言えます。家庭学習のしかたをもう一度考え直す必要がありそうです。教育研究所がすすめている、「授業と家庭学習をつないで勉強しよう！」という「かどがわ学びのサイクル」を家庭でも、是非、実践してみてください。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~